



潟上市章

かたがみ  
Katagami

# 市議会だより

第31号



しめ縄づくり（昭和 野村老人クラブ）

## 12月定例会

H25(2013)01.01

平成25年(2013年)  
1月1日発行

- 年頭あいさつ……………2
- 12月定例会……………3～4
- 市議会議員研修会……………5
- 議会基本条例講演会 ……5
- 委員会報告……………6～7
- 一般質問……………8～13  
8氏が市の方針をただす
- 地方自治功労……………14
- 賛否……………14



# 新たなる一步に向けて

潟上市議会議長 千田 正英

市民のみなさま、明けましておめでとうございませう。平成25年の新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

本年も、みなさまの生活・福祉向上のため、心新たに議会運営に取り組んでまいる所存です。

さて昨年、議会では「議会運営の基本事項を定め、議会の果たすべき役割と責任のあり方などを明文化する議会基本条例」の制定を目指し、特別委員会を設置いたしました。

基本的なことを、何故、わざわざ明文化し、条例にまで定めなければならないのか、疑問を持たれるみなさんも多いと思います。

二元代表制の下では、市議会と市長・そのほかの執行機関との立場は対等であり、互いに抑制と均衡を図りながら、緊張関係を保つことが、市政の発展へとつながります。このバランスが保たれていないことが、全国の地方議会でも、条例の制定が急速に進んでいる要因の一つではないかと思ひます。条例制定は、議員のみならず、市政に携わる全てが「自らの襟を正す」そのような重要な意味をもつと考へております。

今年には「巳」には新たに出發するといふ意味があります。潟上市議会は、これからの時代にあるべき議会の姿、あり方を踏まえ、大きな一步を踏み出す決意であります。市民のみなさまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年は、みなさんがいつも笑顔でいられるような明るく素晴らしい年となりますようにお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

あけまして  
おめでと  
うございませう



- 議 長 千田 正英
- 副 議 長 佐々木 嘉一
- 議 員 中 川 光 博
- 議 員 大 谷 貞 廣
- 議 員 児 玉 春 雄
- 議 員 藤 原 幸 作
- 議 員 菅 原 理 恵 子
- 議 員 澤 井 昭 二 郎
- 議 員 菅 原 久 和
- 議 員 伊 藤 栄 悦
- 議 員 戸 田 俊 樹
- 議 員 佐 藤 義 久
- 議 員 小 林 悟
- 議 員 岡 田 曙
- 議 員 佐 藤 昇
- 議 員 藤 原 典 男
- 議 員 西 村 武
- 議 員 鈴 木 斌 次 郎
- 議 員 堀 井 克 見
- 議 員 藤 原 幸 雄

事務局職員一同

(議席順)

2012年

# 12月定例会

12月5日～18日

全案可決

## ◆一般会計補正予算

【補正額】 **7,889万3千円**

【総額】 **142億1,839万2千円**

### 歳出の主なもの

- 豊川多目的交流施設実施設計委託料  
**1,464万7千円**
- 新庁舎整備樹木伐採・伐根工事  
**2,000万円**
- 戸籍副本バックアップシステム導入委託料  
**619万5千円**
- 介護給付費・訓練等給付費  
**5,552万9千円**
- し尿処理工事請負費（北野武利子沢地区）  
**101万6千円**
- 江川漁港機能保全工事  
**2,000万円**

## ◆特別会計補正予算

単位：千円

	補正額	補正後の 予算額
国民健康保険事業	62,892	3,789,767
後期高齢者保険事業	300	270,452
介護保険事業	139,909	3,112,695
農業集落排水事業	1,522	166,918
下水道事業	4,273	1,156,709
豊川財産区	98	481

## ◆水道事業会計補正予算

単位：千円

	補正額	補正後の 予算額
収益的支出	7,233	558,085
資本的収入	△ 296,536	588,278
補てん財源	損益勘定留保資金	96,536
	建設改良積立金	200,000

提出された  
主な条例や議案

全案可決

### ◎市水道水源保護条例

潟上市の水道に係る水質の汚濁を防止し、清浄で安定的な水を確保するため、水源の保護及びかん養を図り、住民の生命と健康を守ることを目的として制定するものです。

水源保護地域を指定し、保護地域における廃棄物処理・土砂採取及び水質を汚濁させ、また水源取水量に影響を及ぼす恐れのある事業を規制するものです。

### ◎市環境基本計画

潟上市総合発展計画を環境面から実現するために策定するものです。特に飲料水を地下水に頼る潟上市は生命の安全安心のためにも生態系や地下水を守る必要があります。そのため①水環境の保全、②ゴミの減量化・リサイクルの充実、③地球温暖化防止の促進に重点的に取り組むというものです。

### ◎男鹿地区衛生処理一部事務組合規約の一部を変更する規約の協議

昭和衛生センターを廃止し、昭和・飯田川地区のし尿及び浄化槽汚泥を男鹿地区衛生センターに搬入することに伴う組合経費の負担金の負担を変更するためのものです。

### ◎市自治会館設置条例の一部を改正する条例

追分自治会館が平成25年1月1日より使用開始となるため、使用料を定めるものです。

# 議員発議

## 発議第6号

◆議会基本条例策定特別委員会の所管事項の追加と設置期間の延長

(全会一致・原案可決)

### 【提案理由】

条文内容の検討に時間を要すること、議会基本条例の実効性をより高めるため、所管事項及び設置期間を変更するものである。

### ・追加の所管事項

議員のあるべき姿などを明文化するため、政治倫理条例を策定する

### ・設置期間 平成25年9月定例会終了まで

## 発議第7号

◆議会委員会条例の一部を改正する条例

(全会一致・原案可決)

## 発議第8号

◆議会会議規則の一部を改正する規則

(全会一致・原案可決)

### 【第7号・第8号の提案理由】

地方自治法の一部を改正する法律が平成24年9月5日に公布されたことに伴い、所要の改正が必要となるため、条例・規則の関係部分を改正するものです。

## 専決処分の承認

・一般会計補正予算(第5号)

承認

## 条例の改正

・公民館条例の一部を改正する条例  
・児童館設置条例の一部を改正する条例

原案可決

## 指定管理者の指定

・天王本郷自治会館  
・有線放送電話施設

原案可決

## 補正予算

・一般会計補正予算(第6号)  
・国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)  
・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)  
・介護保険事業特別会計補正予算(第3号)  
・農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)  
・下水道事業特別会計補正予算(第3号)  
・合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)  
・豊川財産区特別会計補正予算(第1号)  
・水道事業会計補正予算(第2号)

原案可決

## 人事案件

・人権擁護委員候補者の推薦  
門間 裕一氏(飯田川飯塚)  
西村 伊生氏(天王)  
・豊川財産区管理委員の選任

同意

## 陳情

・オスプレイの配備と秋田県上空での飛行撤回を求める陳情  
・安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書  
・介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書  
・「教育費無償化」の前進を求める陳情書  
・「ゆきとどいた教育」の前進を求める陳情書  
・国に、生活保護基準の引き下げをしないことを求める陳情書  
・地域経済活性化と雇用対策強化のための地方財政の充実を求める意見書採択に関する陳情書

採択

## 陳情

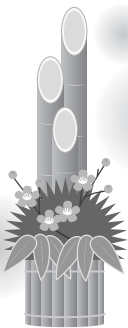
・地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について  
・消費税増税に関する意見書の提出について

不採択

## 陳情

・年金2・5%削減中止を求める意見書の陳情  
(社会厚生常任委員会)

継続審査



# 秋田県市議会議員研修会



秋田県市議会議員研修会

平成24年度秋田県市議会議員研修会（秋田県市議会議員会主催）が11月14日、秋田キヤッスルホテルを会場に開催されました。

研修には潟上市議会議員をはじめ県内13市から市議会議員と議会事務局職員合わせて約300人の出席がありました。

当日は武田邦彦氏（中部大学教授、内閣府原子力委員会専門委員、文部科学省科学技術審議会専門委員）により「間違いだらけの環境問題」と題しての講演が行われました。その中で地球温暖化では、海

面上昇に北極は関係しない。南極の水は温暖化で増える。資源保護では、ペットボトルは分別せずに全て焼却がよい。レジ袋は石油の余り物からできているので削減は意味がない。割箸は間伐材の有効利用であるからどんどん使うべきで「マイ箸」は意味がない。古紙はリサイクルせず新しい紙をどんどん使うのがよい。有害化学物質では、食品添加物・農薬・環境ホルモン・鉛など全部毒物ではない。などの地球環境問題について定説と異なる独自の主張がありました。

## 議会基本条例講演会を開催 (11月22日(木) 昭和庁舎)



議会基本条例講演会

潟上市議会主催による議会基本条例講演会を齋藤俊明氏（岩手県立大学総合政策学部教授）を講師に開催しました。

講演では、他市町村の議会基本条例と潟上市議会基本条例（素案）について、次の項目の比較検討が行われました。

### 潟上市議会の改革の方向性をさぐる

#### 議会改革の現状と課題

1. 地方分権と地方議会
2. 地方議会に期待する機能
3. 議会改革の方向性・全国市議会議長会の取り組み
4. 議会改革に向けての基本的前提
5. 議会改革と基本条例
6. 潟上市議会の改革の方向性

終了後、質疑応答等を行い、約1時間30分にわたる講演となりました。

※参考  
現在潟上市議会基本条例策定委員会の策定状況を報告します。

### 潟上市議会基本条例の骨子（素案）

- 第1章 総則
- 第2章 議会及び議員の活動原則
- 第3章 議員の活動原則
- 第4章 危機管理
- 第5章 党派
- 第6章 市民と議会の関係
- 第7章 議会と市長等の関係
- 第8章 市長による政策等の形成過程の説明
- 第9章 予算及び決算の審査
- 第10章 自由討議の保障
- 第11章 政策協議会
- 第12章 委員会の活動
- 第13章 議会及び議会事務局の体制整備
- 第14章 議員研修の充実強化
- 第15章 議会事務局の体制整備
- 第16章 議会図書室の設置、公開
- 第17章 議員の政治倫理、身分及び待遇
- 第18章 議員定数
- 第19章 議員報酬
- 第20章 議会改革
- 第21章 条例の位置付け及び見直し手続き
- 第22章 最高規範性とする場合
- ※最高規範性及び見直し手続き
- 第21条 最高規範性
- 第22条（見直し手続）

平成25年9月定例会提案を目指し策定中です。

### Q&A

## 総務文教

市はどう答えたか

委員長	藤原 幸雄
副委員長	児玉 春雄
委員	藤原 幸作
委員	菅原理恵子
委員	戸田 俊樹
委員	堀井 克見
委員	佐々木嘉一

### ●自治会館設置条例の一部を改正する条例

**問** 平成25年1月供用開始の追分自治会館について設計変更があったが、その内容は。

**答** 建設地の軟弱層の一部を良土質に入れ替え、収納棚の設置及び外部電源用の開閉器を設置しました。



追分自治会館

### ●公民館条例の一部を改正する条例

**問** 蒲沼分館の老朽化で、蒲沼ことぶき荘に拠点を移した理由は。

**答** 公共集会所施設検討委員会で、利用率が低いものや、老朽化している施設について統廃合を検討した結果です。分館は今後、物置とするか検討中です。

### ●児童会館設置条例の一部を改正する条例

**問** 塩口児童館の活動拠点を塩口ことぶき荘に移した理由は。

**答** 1町内200世帯に1公共施設とする方針のもと老朽化の塩口児童館を地域との話し合いのもと廃止するものです。

### ●天王本郷自治会館の指定管理者の指定について

**問** 指定管理期間が3年から5年になった理由は。

**答** 管理実績が良好であり、平成25年4月より5年間とするものです。管理料は1万円程度減額する予定です。

### ●一般会計補正予算(第5号)

※衆議院の解散にともない総選挙が実施されました。そのための衆議院議員選挙費2,200万円が専決処分となりました。

### ●一般会計補正予算(第6号)

**問** 固定資産税2,500万円の減額補正について。  
**答** 固定資産税の評価替があり15・5%の下落率でした。調定は4月の賦課時点で行いますが11月未まで減免申請等があるため12月補正としました。

**問** 市役所庁舎整備事業費2,000万円の積算根拠及び、mあたりの単価は。  
**答** 建設用地2万6,000㎡の樹木伐採、伐根工事費で伐採は205円、伐竹は299円で伐採後の運搬処分費や板囲い等も含まれるので単純に㎡当たりの単価は表せません。

### Q&A

## 社会厚生

市はどう答えたか

委員長	小林 悟
副委員長	中川 光博
委員	大谷 貞廣
委員	伊藤 栄悦
委員	西村 武
委員	千田 正英

### ●市環境基本計画(案)について

**問** 潟上市の特徴は飲料水を地下水に頼っているから地域特性に合わせた取組みが必要と考えますが。

**答** 地下水の保護は重要な課題と認識しており「市環境保全条例」「市土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例」「市水道水資源保護条例」により厳しく規制しています。

**問** 環境基本計画は10年間の計画期間となっていますが、大まかな工程表を作成し取組んだ方が市民には分かりやすいのでは。

**答** 10年間のスパンの中にそれぞれの目標を定め、また、基本となる総合発展計画に合わせた見直しと、10年間の計画期間中間時点の見直しで対応していきます。

### ●男鹿地区衛生処理一部事務組合規約の一部を変更する規約の協議について

**問** 昭和衛生センターの男鹿衛生センターへの統合による軽費節減は。

**答** 10年間の当初予算では、現行の平等割5分の1部分、利用割5分の4部分の合計7,410万2,000円。統合後の平成25年度見込みでは、平等割、利用割の合計は1億305万8,000円となり、2,895万の増額となります。統合せず昭和衛生センターを継続した場合は維持管理費を含め1億1,840万円を要する見込みから、年間1,500万円程度の軽費削減となります。

**問** 今回、平等割り5分の1について男鹿市5分の2、潟上市5分の3とした根拠は。

**答** 平成17年男鹿市、若美町が合併した際、旧市町村単位で負担すると決定した事を踏まえての事です。

**問** 過去8年間男鹿市が平等割り部分3分の2を負担してきた実績を考慮しても、将来的にこの負担割合のままでは市民の理解が得られないと考える。平等割部分をそれぞれ2分の1ずつの負担とする事と、変更時期も合わせて、今後協議してもらいたい。

**答** 合併時の男鹿地区衛生処理一部事務組合、男鹿地区消防一部事務組合の規約変更時にならった枠組みで引き続き来ておりますのでご理解頂きたい。将来の負担割合についての交渉はしていくべきと考えていますが、変更時期については検討して参ります。



昭和衛生センター

### Q&A

## 産業建設

市はどう答えたか

委員長	藤原 典男
副委員長	鈴木斌次郎
委員	澤井昭二郎
委員	菅原 久和
委員	佐藤 義久
委員	岡田 曙
委員	佐藤 昇

### ●市水道水源保護条例

**問** 水源保護地域と、範囲は。

**答** 追分水源地、出戸水源地、鶴沼台水源地、二田水源地、一向水源地、羽立北野水源地、大郷守水源地7カ所と工事中新追分水源地とで8カ所です。範囲は、審議会で決定されますが、水源地を中心として200〜300mの範囲で考えています。

**問** 既存の対象事業場に対する取り扱いは。

**答** 条例制定内容を説明し、規模拡大をするには管理者に事業協議を必要とすることから難しい旨を説明します。

**問** 審議会のメンバーは。

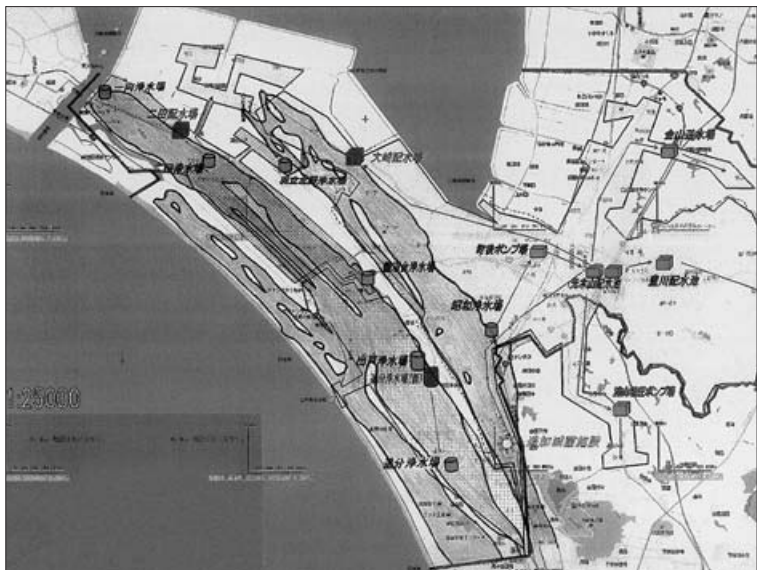
**答** 秋田大学教授、県生活環境部水道班職員、秋田市水道局職員、水質の専門家、元市水道職員等を考えています。

**問** 25年4月1日から施行されるが、これ以前に新規の対象事業の申請があった場合は。

**答** 条例に照らし合わせ、好ましくないという意見を提出し、潟上市調整会議、政策会議で不認可となると思います。

**問** 新追分浄水場が完成した場合、現在の追分浄水場は廃止するのか。

**答** 浄水場の機能は廃止をして水源地として残す予定です。



水源地

### ●一般会計補正予算(第6号)

**問** 水産物供給基盤機能保全工事の施工場所は。また、当初予算でなぜ行わないのか。

**答** 天王漁港の北防波堤22・5mと物揚場20mを行います。

25年度予算を前倒しにより行うもので、経済対策の一環として国の予備費が割当てられたものです。

### 市税の不納欠損処理について



西村 武 議員

**質問** 平成23年の決算で不納欠損額は2,800万円弱であるが、この理由は5年間の消滅時効が成立したためか。

**答弁** (総務部長) 不納欠損処分は、地方税法、国税通則法に基づき執行されます。5年で欠損処分した件数と金額は、一般会計と国保特別会計で187件1,090万円、3年での欠損処分は77件728万円となっています。

**質問** 債務の履行延期をした場合、履行期限から10年を経過し免除したものか。

**答弁** (総務部長) 時効の完成日は分納誓約や一部納付した日から更に5年を経過した日となるため、10年を経過し免除したものではありません。13年度以前の分で20件120万円でした。

### 福祉問題・地域で支え合うまちづくりについて

**質問** 見守りネットワーク事業の内容は。

**答弁** (福祉保健部長) 地域福祉

計画の中に、重要性の高い取組みとして位置づけられています。一人暮らしの孤独死や高齢者世帯の介護に伴う共倒れ等が新聞等で報道されている状況から、社会福祉協議会と連携を図り、小地域単位として自治会、民生児童委員、近隣住民等で組織する「見守りネットワーク」を形成し、日常的な声かけ・見守り・訪問などによる安否の確認、買い物・除雪・ゴミ出し等の日常生活支援活動を行っています。

**質問** 安全パトロール事業の内容は。

**答弁** (福祉保健部長) 社会福祉協議会において、予め一人暮らし高齢者、高齢者世帯の家庭と連絡を取りながら戸別訪問し、困りごとや悩みごと等を聞きながら、防火・防犯・交通安全などの意識を高めるために行っています。



社会福祉協議会 (昭和センター)

**質問** ボランティア活動の考え方について。

**答弁** (福祉保健部長) ボランティア活動は「自然な思いやりのやりとり」と認識しています。最近では、高齢化に伴い、ボランティア活動が停止にあるものと、団体から離脱する方も多くなっています。自治会・老人クラブ・婦人会等への働きかけと退職者世代を対象に、豊富な知識と経験を生かしてもらえるよう、加入促進を図っています。

の対策本部や集中管理機能確保、庁舎全体が避難場所と配慮しています。

**質問** 建設面積の増加で増額はいくらかですか。

**答弁** (部長待遇企画政策課長) 総額28億円は、プロポーサル業務概要で工事費と外構整備費を含むもの、立木の伐採・抜根・造成費など含まず。m当たり32万円で試算すると1億6千万円増額します。また4階建てとしますと総事業費は増高すると予想されます。さらに特例債の枠が緩和され全額起債対象額になり、市の持ち出し分は、想定範囲内と予想しています。

### 行革は市民の 立場で行うべき



佐藤 義久 議員

**質問** 男鹿地区衛生センターに搬入する理由は。昨年、一昨年と多額の整備費を費やし、機器を更新したが、25年4月の移行は計画性に乏しいのではないかと。建物の耐用年数は、あと何年ですか。

**答弁** (市民生活部長) 市の組織機構の見直し、行財



昭和衛生センター

政改革の一環です。処理効率や施設の老朽に伴い修繕費が増額しています。建物は、鉄骨造であと10年程度です。(最終日に当局より「鉄骨造」を「鉄筋コンクリート造」に訂正がありました)

**質問** 歳費の20%の5分の3が潟上市の負担金3,626万円、男鹿市が2,830万円と聞きます。

**答弁** (市民生活部長) 昭和の分は4,900万円、男鹿地区の負担金6,900万円、計1億1,800万円の計上見込みです。

### 新庁舎の素案について

**質問** 基本コンセプトは。

**答弁** (部長待遇企画政策課長) 開放的で見通し良く、入りやすい庁舎また防災の拠点として災害時

**質問** 統合見込みは。

**答弁** (市長) 高齢化や人口減少等を踏まえ、安全・安心な地域社会の実現に向けて協議を進めることを確認しています。

**質問** 地方自治法改正による潟上市消防署(本部)の設置検討は。

**答弁** (市長) 国や県の消防広域化と同様の方向性を指すことを考えています。

### 国民文化祭と石川翁について

**質問** 石川翁と写真のコンセプトは。

**答弁** (教育長) 「自然の恵みと先人の想い、功績に感謝し、写真を通して今ある潟上、全国の魅力を後世に伝えること」を念頭に進めています。



消防の広域化は

### 消防の広域化について



藤原 幸作 議員

**質問** メリット・デメリットをどのように捉えて協議会に参加しているか。

**答弁** (市長) 組織面では、人員配置の柔軟性の向上、財政面では、財政規模の拡大により、高度な施設が整備を進めやすくなり、大規模災害の対応面では、初動体制が強化されるなどのメリットがあります。

デメリットは、管轄面積の拡大で消防分署の配置見直しなどが課題になるのではないかと考えています。

**質問** 現在までの協議事項と、合

**答弁** (市長) 現行の負担金額を超えないことを基本としていますが、試算段階で増減があり、協議が必要となっています。

**答弁** (市長) 統合方式は一部事務組合方式、名称は「男鹿潟上南秋消防組合」、事務所及び消防本部の位置は、現在の男鹿地区消防分署は現行のとおり維持するものとしています。協議中の主なものは、経費の支弁方法が中心です。

**質問** 組合経費の支弁方法の算出方法と、調整できない要因は。

**答弁** (市長) 現行の負担金額を超えないことを基本としていますが、試算段階で増減があり、協議が必要となっています。

**質問** 「山田 草木谷」での田植え作

業などの撮影会及びその作品を展示することなどを検討しています。  
**質問** 潟上市郷土文化保存伝習館及び遺跡地の現状をどのように認識しているか。  
**答弁** (教育長) 石川理紀之助翁の功績を広く伝えるとともに、次世代を担う人たちの育成の拠点として、地域文化の発展に貢献する本市の代表的な文化施設であると認識しています。  
**質問** 施設、遺跡地の改善や活用は。  
**答弁** (教育長) 資料館は、資料など増えてきていることから、その展示、活用方法について検討を重ねています。遺跡は、県指定史跡であることや所有者が石川翁遺跡保存会であることから今後、十分な協議・検討が必要と考えています。

### 細谷・出戸新町地区の道路整備について



佐藤 昇 議員

**質問** 道路整備計画路線は、  
**答弁** (市長) 二田・追分線の拡幅改良整備は計画路線として位置付けています。



学校安全サポート員による見守り

歩道を整備するには、用地確保等に多額の費用を伴うことから、国、県の補助事業の活用等と市の財政状況を考慮しながら、検討したいと考えています。  
**質問** 議会で採択された未整備区間は。  
**答弁** (市長) 陳情が採択された3路線は既に整備済みです。願意妥当となって採択となったのは二田・追分線1路線です。

め、道路利用者等の理解を要し、近辺の道路状況や地域の方々、道路利用者等の関係者と十分な協議を重ねたいと考えています。  
**農業用水の浄化(八郎湖、長沼、鞍掛沼)について**

**質問** 鞍掛沼の水質浄化策は。  
**答弁** (産業建設部長) 人工滝へ流入する井戸の更新と曝気装置を設置しています。給水は八郎湖で、思うような成果が上がっていないので、関係機関と連携し対応していきます。

**質問** 長沼の水質浄化と二田水路の雨排水流入について。  
**答弁** (産業建設部長) 国道7号側の雨水、西高前の雨水も長沼に排出され、二田水路への流入は改善されたものの、稲作農家には、水質悪化の懸念があると思われま

す。新城川土地改良区と協議・検討してまいります。

**質問** 市内の地域のため池の水量と水質について。  
**答弁** (産業建設部長) 鞍掛沼・長沼・高野堤の3カ所は、継続的に水質の調査を行っており、水の汚れ等がみられますので、引き続き水質の監視を継続します。

**質問** 優先順位の根拠は。  
**答弁** (市長) 第1は天王、昭和、飯田川の3地区を結ぶ幹線道路、第2は幹線市道として位置付けられている、1級及び2級市道の整備です。  
**質問** 出戸小学校区スクールゾーンの設定は。  
**答弁** (教育長) 車両の通行禁止や一方通行等の交通規制を伴うた

に滞留しないよう、河口に、フロートと目の細かい網からなるシルトフェンスを、設置しています。八郎湖水質対策連絡協議会でも取組みを強化していきます。

は施行されますが、条例具体化の第一段階としてどのように考えているか。  
**答弁** (部長待遇企画政策課長) 条例の理念に基づき「会議の公開」「各種委員等の公募」施策に対する「パブリックコメント手続き」についてのガイドラインの策定をします。



佐々木嘉一 議員

### 平成25年度の予算編成方針について

**質問** 国の情勢によれば19年ぶりに予算編成が越年するようだが、潟上市議会開会のタイムリミットは。  
**答弁** (市長) 年度開始20日前が提出期限。市議会は20日位要しますので3月上旬に提案され、3月中旬に議決されずと支障ありません。

**質問** 若い人の流出防止と雇用対策は重要で、昭和工業団地に立地した企業数と従業者数はいくらか。  
**答弁** (市長) 合併後は5社237名の雇用があります。全体では11社従業者数512名です。  
**工場誘致対策について**  
**質問** 誘致対策の具体的な取組みの現状は。市長のトップセールスの機会はどうか。  
**答弁** (市長) 製造業は多岐でありますが市の奨励措置は対応を考慮しています。職員を県に派遣

し、首都圏で誘致活動もしています。トップセールスは機会を見て対応しています。  
**自治基本条例の施行について**  
**質問** 潟上市の市政運営にかかわる最高規範(憲法)と言われる自治基本条例の施行を控え、市民フォーラムの開催など実施されています。この事によって市政運営はより民主的に行なわれる事になります。平成25年1月1日から条例

「市民協働」というテーマにどう取組むか。自治会等コミュニケーションと協働の認識は。  
**答弁** (部長待遇企画政策課長) 条例に示す「協働」と「参画」は自治会のほか婦人会やNPO等活動主体を広げ効果あるものになりたい。  
**質問** 条例を具体化するための行程(ロードマップ)を示す必要があると思うが。  
**答弁** (市長) 条例は理念に終わることなく「行動方針」を煮つめていくべきと考えます。

### 工場誘致対策の現状は雇用創出に積極的取組みを

**質問** 市長選挙があり骨格予算とする旨を述べています。市政運営の根幹はあらかじめ発展計画に示され、議決されており、通年予算でもよいのでは。  
**答弁** (市長) 年度開始20日前が提出期限。市議会は20日位要しますので3月上旬に提案され、3月中旬に議決されずと支障ありません。



県内でも立地条件等屈指の工業団地

は、首都圏で誘致活動もしています。トップセールスは機会を見て対応しています。  
**自治基本条例の施行について**  
**質問** 潟上市の市政運営にかかわる最高規範(憲法)と言われる自治基本条例の施行を控え、市民フォーラムの開催など実施されています。この事によって市政運営はより民主的に行なわれる事になります。平成25年1月1日から条例

「市民協働」というテーマにどう取組むか。自治会等コミュニケーションと協働の認識は。  
**答弁** (部長待遇企画政策課長) 条例に示す「協働」と「参画」は自治会のほか婦人会やNPO等活動主体を広げ効果あるものになりたい。  
**質問** 条例を具体化するための行程(ロードマップ)を示す必要があると思うが。  
**答弁** (市長) 条例は理念に終わることなく「行動方針」を煮つめていくべきと考えます。

### 公共交通体系について



大谷 貞廣 議員

**質問** マイタウンバスの運行方法は。  
**答弁** (市長) マイタウンバスは、交通弱者の移動手段の確保を目的に、バス事業者が赤字等の理由により運行できなくなった路線を市が主体となって運行するものです。運行形態の見直しなど、経費の節減を図っていますが、費用対効果の面は厳しい状況です。交通弱者の移動手段の確保は高

齢化社会に向け、不可欠なものと考えています。  
**質問** 高齢者等への対応は。  
**答弁** (市長) 公共交通が困難な地域の高齢者等の交通手段の確保として、デマンド型の乗合タクシーなどの新たな生活交通システムを検討しています。導入にあたっては、民間交通事業者等との調整や、マイタウンバスの路線の見直しをしながら、生活交通システムの確立に向け取り組んでいきます。



マイタウンバス

### 産業の振興と地域活性化について

**質問** 農林水産物の加工品・新規特産物の開発(ブランド化)の促進と、地産地消など付加価値の創造の取組みは。  
**答弁** (産業建設部長) 天王グリ

ーランドを核とした直販機能の強化、地産地消と食育の推進、地域農林水産物を活用した産業の強化及び人材育成等を柱とし、農林水産物の振興による潟上市の地域再生計画の実現を図るべく、県立大学と連携協力協定を締結し、推進体制の整備に努めています。実現にあたり「活性化推進協議会」を設置し、大学からは、地場産品を活用した特産品・加工品等によるブランドの開発など、6次産業化の事業展開にアドバイスをいただいています。また、市民を対象にした「特産品開発チーム」を立ち上げ、仕入れから販売までのノウハウなどについても、ご指導・ご協力をいただいています。



### 石川市長の3選出馬について



藤原 幸雄  
議員

**質問** 市民の多くは、石川市長の3選を望んでいることと思います。新庁舎建設等、多くの課題が山積していますが、解決には、行政経験豊富で、かつまた継続的な要素が要求されます。市長の集大成として取組み、力強く出馬宣言をしていただくことを期待しますが。

**答弁** (市長) 私には市政を司る原点である新庁舎建設という大義があると確信しています。百年の大計の新庁舎建設は、ようやく緒についたばかりです。新庁舎建設を実現し、かつ行政改革をも強力

に推進する、潟上市民が安心・安全に暮らせるまちづくりに全身全霊を傾けることが、合併の最高責任者たる石川市政の集大成であるとする多くの声もあります。潟上市に住む人々が今を、そして将来においても心豊かに安心して暮らせる郷土潟上市を創っていくこと、その基盤を確固たるものとして次の世代に引き継いでいくことが私に課せられた責任であるとの考えに至り、市民の皆様から寄せられました期待と後押しを大きな力として、ここに次期潟上市長選挙に立候補することを表明致します。

### 来年度の 新規事業について

**質問** 来年度の新規事業は、

**答弁** (市長) 新年度の予算が固まっていないので答弁は控えます。このあと選挙公約を発表することになりますが、私の頭の中には、大久保駅、羽後飯塚駅舎の改修、大豊小学校前の橋梁新設を含む市道改良工事、水害解消のための下虹川俣ノ内、東湖排水機場整備があります。地域要望の津波避難タワーの設置は、必要性を県の津波浸水予測区域等の見直し結果を見て判断しなければならぬと思っております。

### 陳情の優先順位について

**質問** 陳情はどのような基準で対応しているのか。

**答弁** (副市長) 地域からの要望等は日頃から詳細が解るような回答に努めています。未実施の理由



JR 大久保駅

は、用地の様が複雑、財政的に事業費の大きいものが大勢を占めています。自治会からの要望事項は、必要であれば地域より立会いを願ひ、状況把握と速やかな対応に努めています。

優先順位は、各課の事業年次計画によって緊急性や安全性等の観点から順位を付けています。高額の事業費となる場合は、補助金・交付金事業の掘り起こし等が必要となることから、その理由について回答を加えてご理解を願っています。

### 潟上市障害者居宅支援金について



藤原 典男  
議員

**質問** 本市独自の制度で知的および身体障害者の方の福祉の増進を図るために障害の程度に応じて障害者居宅金を支給しているが精神障害者は該当になっていないので、対象とすべきではないか。また支援金の内訳は。

**答弁** (市長・福祉保健部長) 精神障害者については継続的な医療を必要とし日常生活や就労支援など生活全般にわたり支援を必要とする人が多く、居宅支援金の支給については難病等も含め今後検討していきます。

今年度の支給額は514万3千円で療育手帳Aは8千円の61人、療育手帳Bは5千円で65人、身体障害者手帳1・2級は5千円で629人、3級は3千円で230人、4級は2千円で243人です。精神障害者手帳を持つている方は149人おり、重度の方121人に支給すると70万4千円の増となります。

### 予防接種ワクチン接種への対応について

**質問** 乳幼児期および児童が接種を受けなければならないワクチンは定期接種と任意接種があるが、その中でおたふく風邪と水ぼうそうは接種への助成対象となっていない。これに対する厚労省と本市の見解および保健衛生面での親への指導は。

**答弁** (福祉保健部長) おたふく風邪と水ぼうそうは保護者の判断のもとで接種することが推奨されており、この2つの予防接種については国や県から市町村に対し通知も見解も出していない。定期化となればすぐに対応できる体制にあります。親への指導は乳幼児健診時等の機会を通じて子供の頃にかかりやすい病気として知識を

### 介護保険制度を利用での 福祉用具レンタルについて

**質問** 福祉用具をレンタルしている方の実態はどうか。また、今後年金の減額と消費税の増税でレンタル料の負担は重くなる。補助への見解・対応は。



介護用の福祉用具

### 全員協議会

■10月17日(水)  
市長招集

- ◎協議案件  
(1) 新庁舎平面図について  
(2) 潟上市水道水源保護条例(案)について  
(3) 旧豊川小学校敷地活用計画について

◎協議案件  
協議案件

- (1) 林活議員連盟について  
(2) 議会報告会の回答について  
(3) 議会基本条例策定特別委員会の進捗状況について

■11月7日(水)  
議会主催

- ◎協議案件  
・潟上市新庁舎基本設計図書素案)4階平面図についての検討

■11月21日(水)  
市長招集

- ◎協議案件  
(1) 新庁舎建設基本設計(素案)に対する議会意見への調整方針について  
(2) 潟上市環境基本計画(案)について

### 行政視察研修来訪

■10月24日(水)

宮崎県都市議会

会派(進政会5名 新政同志会2名)

◎研修テーマ

- (1) 産直センター「食菜館」について  
・「食菜館」の運営について  
・都市市との取組みについて
- (2) 石川理紀之助翁の業績と都市市との関係について  
・石川理紀之助翁ゆかりの史跡・施設などの見学

■10月29日(月)

北海道白老町議会

建設厚生常任委員会

◎研修テーマ  
・空き家対策について



石川翁資料館を見学(都城市議会)

# 平成24年 秋田県地方自治功労

平成24年11月3日に県正庁で伝達式が行われ、本市議会からは次の3名の方が受賞されました。



## 藤原 幸雄氏 (75歳) (天王字上江川)

昭和62年に天王町議会議員に当選され、産業建設常任委員長、議会選出監査委員、平成17年からは潟上市議会議員として、議会広報編集委員長、総務文教常任委員長、男鹿地区衛生組合議会代表議員などをつとめられています。

この度の受賞は多くの市民の温かいご支援とご協力の賜と存じ心からお礼申しあげます。一番印象に残っているのは、監査委員を通算2期務めました、大過なく職責を全うできたことと、財政状況等各般に亘り把握できました。今後ともよろしくお祈りします。



## 西村 武氏 (70歳) (天王字松渕)

昭和62年に天王町議会議員に当選され、副議長、文教常任委員長、議会運営委員長、総務常任委員長、平成17年からは潟上市議会議員として、産業建設常任委員長、議会広報編集委員長、議会運営委員長などをつとめられています。

26年間の議員活動が認められ秋田県地方自治功労賞受賞の栄に浴することになりましたのも、皆様のご支援とご指導の賜と深く感謝を申し上げます。今後も基本姿勢として市民の声を市政に繁栄させるべく努力し、地方自治発展のため頑張りますこととお誓いします。



## 佐藤 義久氏 (68歳) (昭和大久保字宮の前)

昭和62年に昭和町議会議員に当選され、建設常任委員長、議会広報編集委員長、平成17年からは潟上市議会議員として、文教常任委員長、産業建設常任委員長などをつとめられています。

この度、秋田県自治功労賞の受賞につきましては、一重に皆様のご支持ご支援の賜、衷心より感謝申し上げます。

勇往邁進・隗より始めよ=目的をもち、積極的に自ら行動する信念で市民の幸せと地域の繁栄を願い、今後とも日々精進努力して参ります。

### \* \* \* \* 提出議案・陳情に対する賛否 (全会一致を除く) \* \* \* \*

○男鹿地区衛生処理一部事務組合規約の一部を変更する規約の協議 (原案可決)

**賛成** 中川光博、大谷貞廣、児玉春雄、藤原幸作、澤井昭二郎、小林 悟、岡田 曙、佐藤 昇、藤原典男、西村 武、鈴木斌次郎、藤原幸雄

**反対** 菅原理恵子、菅原久和、伊藤栄悦、戸田俊樹、佐藤義久、堀井克見、佐々木嘉一

○消費税増税に関する

意見書の提出について (不採択)

**採 択** 藤原典男

**不採択** 中川光博、大谷貞廣、児玉春雄、藤原幸作、菅原理恵子、澤井昭二郎、菅原久和、伊藤栄悦、戸田俊樹、佐藤義久、小林 悟、岡田 曙、佐藤 昇、西村 武、鈴木斌次郎、堀井克見、藤原幸雄、佐々木嘉一

### 編集後記



11月、議員有志と3度目の東日本大震災被災地を視察。相馬市から石巻市まで北上、最後に全校児童108名のうち74名の死亡・行方不明を出した大川小学校に行きました。現地を見ると避難したグラウンドのすぐ後が山なのに、津波が到来するまで、なぜ「50分」もグラウンドに退避したままだったのか、なぜ津波が来てから北上川堤防の方向に避難したのか、悔やまれます。

また、1度目に視察した山田町の船越小学校は海抜20メートル位の場所にあつたが、それでも避難指示者が危険と感じ、更にもう1段高い場所に避難し、全員助かったというのでした。船越小学校も校舎1階とグラウンドがともに津波の被害を受けたことを考えると、津波危機への認識の差が明暗を分けたのではないかと。被災地の1日も早い復旧復興をお祈りいたします。  
(鈴木斌次郎記)